

RM-5000シリーズ

マルチケース

5000-02W / 5000-02R
5000-04W / 5000-04R
5000-06W / 5000-06R
5000-08W / 5000-08R
5000-10W / 5000-10R
5000-12W / 5000-12R

取扱説明書

理研計器株式会社

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6

ホームページ <https://www.rikenkeiki.co.jp/>

目 次

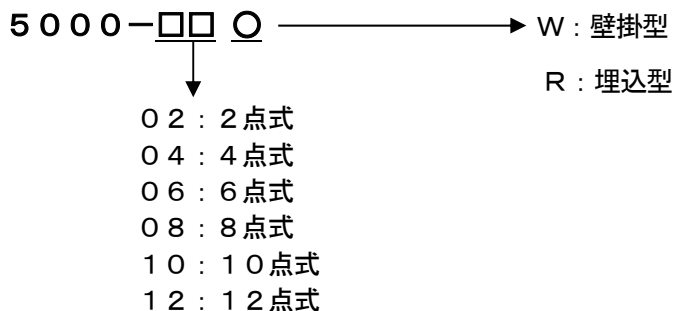
1. 製品のアウトライン	
1-1. はじめに	2
1-2. 使用目的	2
1-3. 危険、警告、注意、注記の定義	2
1-4. CE/UKCA マーキング仕様の認方法	3
2. 安全上、大切なお知らせ	
2-1. 危険事項	4
2-2. 警告事項	4
2-3. 注意事項	5
3. 製品の機能	
3-1. 外形図	6
3-1-1. 壁掛型	6
3-1-2. 埋込型	7
3-2. 各部の名称及び働き	8
3-3. 端子信号表	9
4. 使用方法	
4-1. 使用するにあたって	10
4-2. 各ユニットの取り付け／取り外し手順	10
4-3. 取付場所に関する留意事項	11
4-4. システム設計上の留意事項	12
4-5. 接地工事	15
5. 機器間接続	
5-1. 電源の接続	16
5-2. 接点出力への接続	16
5-3. 4～20mA出力への接続	16
5-4. RS-485出力への接続	16
5-5. 各種信号入力への接続	16
5-6. 検知部との接続例	16
6. 製品仕様	25

1. 製品のアウトライン

1-1. はじめに

※
この度は、RM-5000シリーズ用マルチケース「5000-□□○」型をお買い上げいただきありがとうございます。

※ マルチケースには以下のモデルがあり、仕様は次の通りです。



この取扱説明書は本器の取扱方法と仕様を説明したものです。

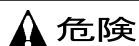
本器を正しくご使用していただくための必要な事項が記載されています。初めてご使用になる方はもちろん、すでにご使用になられたことのある方も、知識や経験を再確認する上で、よくお読みいただき内容を理解した上でご使用願います。

1-2. 使用目的

○ 本器は、RM-5000 シリーズ用の多点式ユニットです。電源ユニットを有していますので、電源には商用電源を接続、指示警報ユニット(別売品)及びブザーユニット(別売品)を実装し、検知部(別売品)との接続を行うのみで計装できます。

○ RM-5000 シリーズ各種指示警報ユニットを任意に配列することが可能です。

1-3. 危険、警告、注意、注記の定義



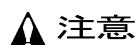
危険

この表示は取扱いを誤った場合、「人命、人体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。



警告

この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。



注意

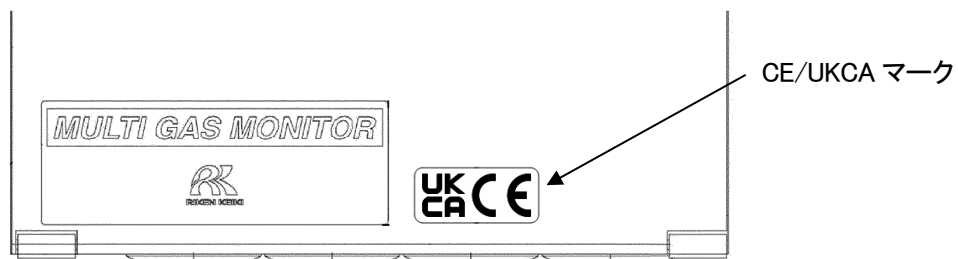
この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に軽微な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。

*** 注記**

この表示は取り扱い上のアドバイスを意味します。

1-4. CE/UKCAマーキング仕様の確認方法

CE/UKCA マーキングに適合している仕様の場合、製品に CE/UKCA マークが貼付されています。ご使用になる前に、お手元にある製品の仕様をご確認ください。なお、CE/UKCA マーキング仕様をご使用になる場合、巻末の自己宣言書 (Declaration of Conformity) を参照してください。



CE/UKCA マーク貼付箇所
(DC 仕様のみ)

2. 安全上、大切なお知らせ

2-1. 危険事項

危険

本器は、非防爆構造の機器です。

2-2. 警告事項

警告

- ・ ブザーユニット／指示警報ユニット
本器には指定されたRM-5000 シリーズ指示警報ユニット及びブザーユニット以外は接続しないで下さい。本器又は接続機器が破損する恐れがあります。
- ・ 電源
電源投入前に、必ず供給電源が所定の電圧であることを確認した上で、本器の電源を入れて下さい。
- ・ 保護接地の必要性
本器の内部または外部の保護接地線を切断したり、保護接地端子の結線を外さないで下さい。いずれの場合も本器が危険な状態になります。
- ・ 保護機能の欠陥
保護接地およびヒューズなどの保護機能に欠陥があると思われる場合は、本機器を作動させないで下さい。また、本器を作動させる前には、保護機能に欠陥がないか確認して下さい。
- ・ ヒューズ
火災防止の為、本器で指定されたヒューズを使用して下さい。
ヒューズの交換は、POWER スイッチをOFFにし、元電源を切ってから行って下さい。
指定外のヒューズを用いたり、ヒューズホルダを短絡しないで下さい。
ヒューズについては、弊社営業部までお問い合わせ下さい。
- ・ 外部接続
保護接地を確実に行ってから、検知対象や外部制御回路への接続を行って下さい。
- ・ 取り付け／取り外し
ブザーユニット及び指示警報ユニットを本器に装着する際は、ルールに沿ってそのまま挿入して下さい。取り外す際は、ブザーユニット及び指示警報ユニット下部にあるロックレバーを押しながら抜いて下さい。ロックしたままの状態ではブザーユニット及び指示警報ユニットを本器から取り外すと、ロックレバー機構が破損する恐れがあります。正しい手順で取り付け及び取り外しを行って下さい。
- ・ ガス中での作動
可燃性、爆発性のガスまたは蒸気のある場所では、本器を作動させないで下さい。そのような環境下で本器を作動することは大変危険です。

2-3. 注意事項

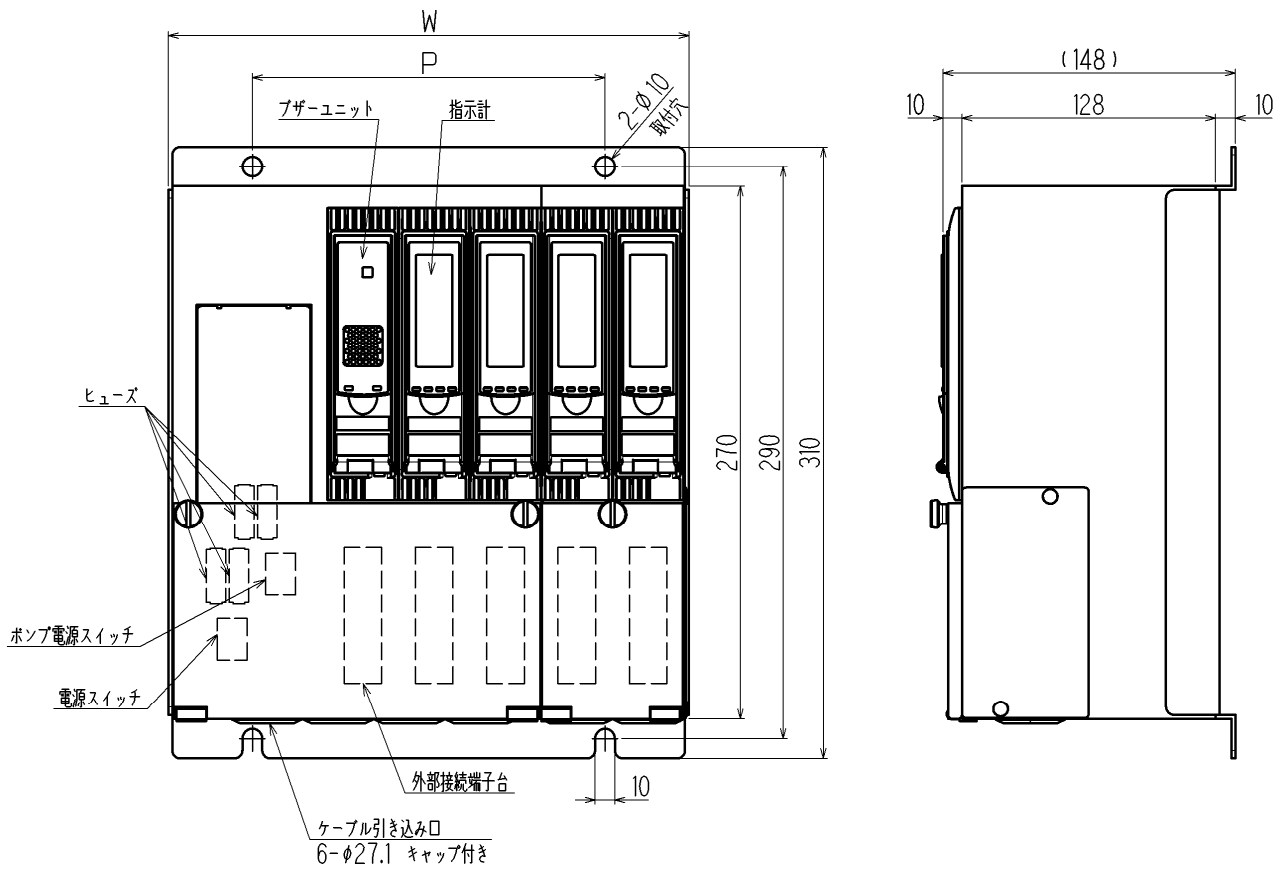
注意

- ・ 本器の近くでは、トランシーバー・携帯電話等を使用しないで下さい。
本器の近くやケーブルの近くでトランシーバー等による電波を発射すると、動作に影響する場合があります。トランシーバー等を使用する場合には影響のないところでご使用下さい。
- ・ 電源の再投入は、5秒以上の間隔をあけて下さい。
5秒未満に電源を投入すると正常な動作をしない場合があります。
- ・ この取扱説明書に従わず本器を運転、保守した場合、あるいは独自の改造や指定外の部品で修理した場合は、製品の安全と品質を保証できません。また、これらによって事故が発生した場合は責任を負いかねます。
- ・ 電源線及び信号線の断線、不慮の要因による動作不良、故障等が発生した時でも、安全性が保てるよう計装には十分な配慮をお願いします。
- ・ 本器は電気応用機器です。電源ノイズ、静電気、電磁ノイズによって影響を受けることがまれにありますのでご注意下さい。そのような環境でご使用になる場合は予め、保護処置を施してご使用下さい。
- ・ 本器を分解・改造したり、むやみに設定変更をしないで下さい。
本器を分解・改造したりすると、性能が保証できなくなりますので絶対に止めて下さい。また内容を把握しないでむやみに設定を変更すると、場合により警報が正常に動作しなくなることがあります。本取扱説明書に基づき、正しくご使用頂くようお願いします。
- ・ 定期的な点検を必ず行って下さい。
本器は保安計器につき、安全確保のために検知部を含めて定期的な点検を必ず行って下さい。

3. 製品の構成

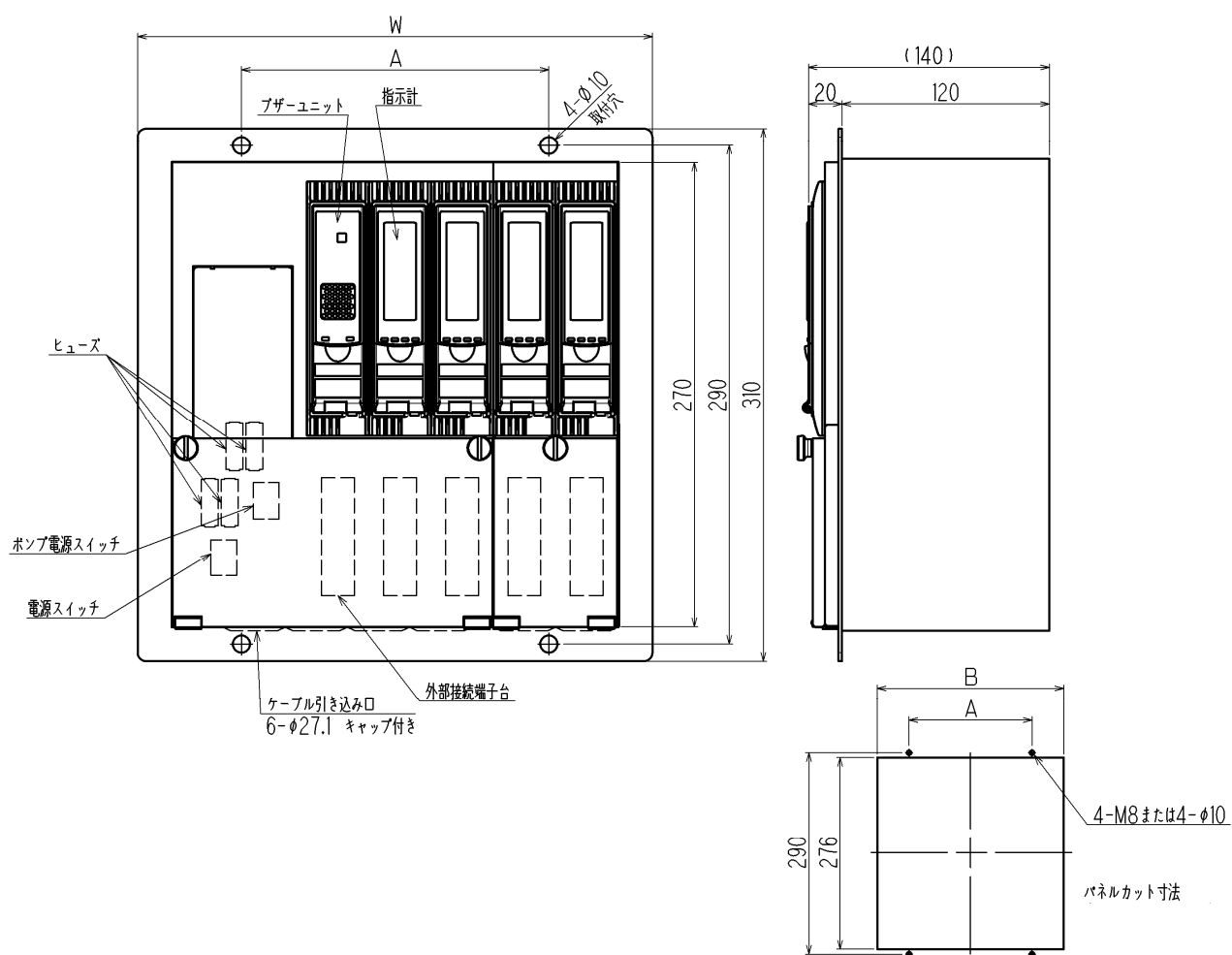
3-1. 外形図

3-1-1. 壁掛型



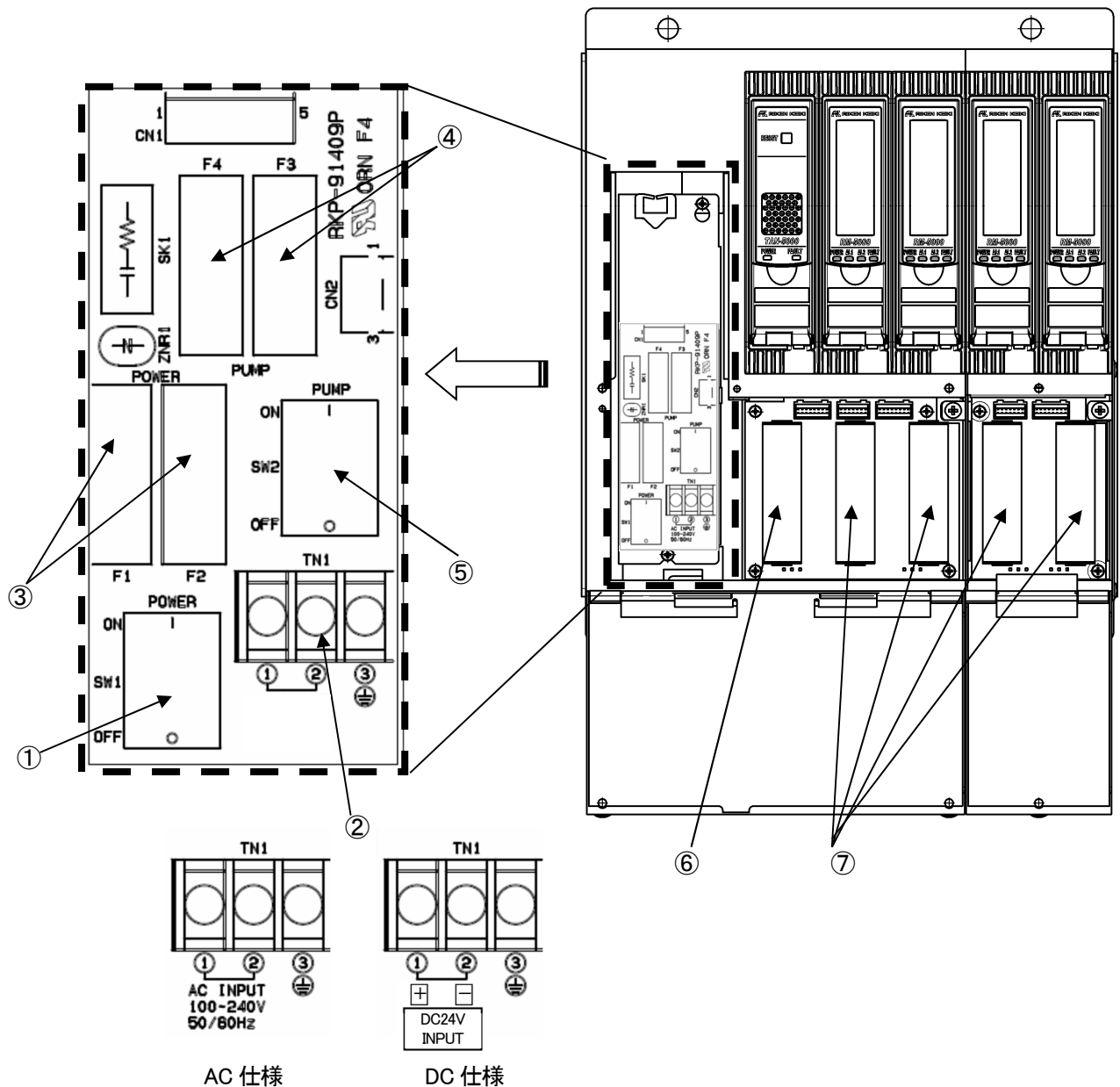
指示警報ユニット 点数	2	4	6	8	10	12
寸法 (mm)						
W	191	263	336	408	480	552
P	106	178	250	322	366	474

3-1-2. 埋込型



指示警報ユニット 点数 寸法 (mm)	2	4	6	8	10	12
W	226	298	370	442	515	586
A	106	178	250	322	366	474
B	198	270	342	414	486	558

3-2. 各部の名称及び働き

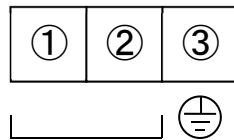


- ①電源スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・メイン電源スイッチです。
- ②電源入力端子台・・・・・・・・・・・・・・・・・・電源ケーブルを接続します。
- ③電源ヒューズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・電源メインヒューズです。
- ④ポンプ電源ヒューズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ポンプ電源用のヒューズです。
- ⑤ポンプ電源スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ポンプ電源用のスイッチです。
- ⑥ブザーユニット用端子台・・・・・・・・・・・・・・・・・・ブザーユニットの外部信号などを接続します。
- ⑦指示警報ユニット用端子台・・・・・・・・・・・・・・・・・・検知部、警報接点出力用端子台です。

3-3. 端子信号表

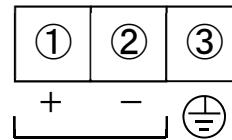
電源用端子台

電源ユニット(AC仕様)



電源入力
AC100~240V
50/60Hz

電源ユニット(DC仕様)



電源入力
DC24V

ブザーユニット用端子台

RS-485 入出力※1	A	①	⑦	T.ALMI	総合 1st 警報 接点出力
	B	②	⑧		
ブザーストップ 信号入力	EX. BZ-STOP	③	⑨	T.ALMI2	総合 2nd 警報 接点出力
			⑩		
テスト入力	EX.TEST	④	⑪	T.FAULT	総合 故障警報 接点出力
			⑫		
DC24V 出力	+	⑤			
	-	⑥			
接地用端子	FG		⑬	EX.RESET	リセット信号 入力
			⑭	COM	コモン

指示警報ユニット用端子台

ポンプ用 電源※2	※2	①	⑦	ALM1	1st 警報 接点出力
	※2	②	⑧		
検知部	DETECTOR	③	⑨	ALM2	2nd 警報 接点出力
			⑩		
		④	⑪	FAULT	故障警報 接点出力
			⑫		
接地用端子	FG		⑬	+	4-20mA 出力
			⑭	-	

※1 RS-485 入出力は、指示警報ユニットの仕様によります。

※2 ポンプ用電源は、AC仕様の場合：① (L) ② (N)、DC仕様の場合：① + ② - になります。

4. 使用方法

4-1. 使用するにあたって

本器を初めてご使用になる方も、既にご使用になられた方も使用方法の注意事項を必ず守って下さい。これらの注意事項を守らない場合には、機器の故障が生じ、正常なガス検知が行えない場合があります。

4-2. 各ユニットの取り付け／取り外し手順

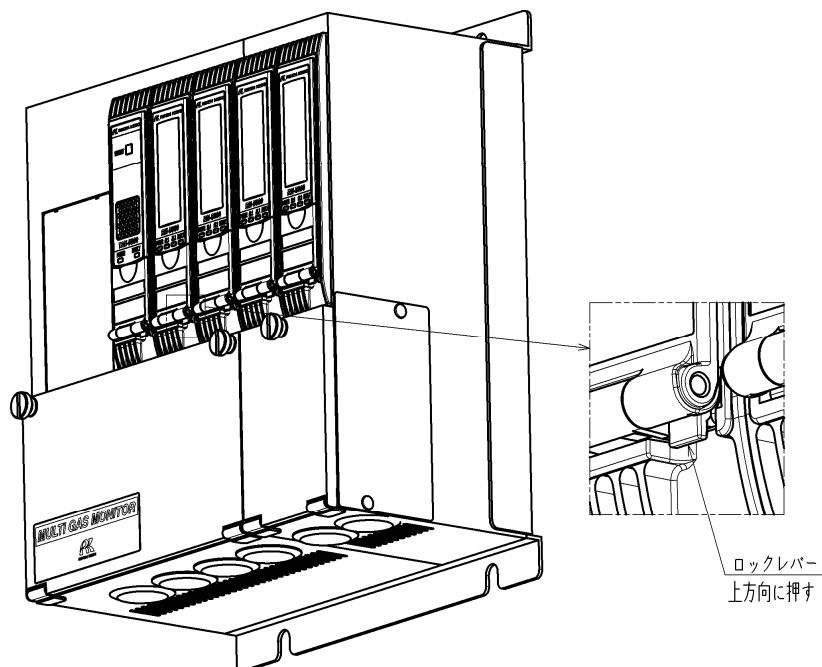
本器から RM-5000 シリーズ指示警報ユニット及びブザーユニットを脱着する場合は、次の手順にて行います。

(1) 取り付け方法

- ・指示警報ユニット及びブザーユニットの前面カバーを開けます。
- ・電源スイッチがオフであることを確認します。
- ・当該ユニットを本器のレールに沿って挿入します。
- ・カチッと音がして、手応えがあるまで挿入して下さい。
- ・当該ユニットが抜けない事を確認して下さい。

(2) 取り外し方法

- ・指示警報ユニット及びブザーユニットの前面カバーを開けます。
- ・当該ユニットの電源スイッチをオフにします。
- ・当該ユニット右下のロックレバーを上げたまま、前面カバーを持って本器から抜き取ります。
- ・当該ユニットの前面カバーを閉じます。



▲ 注意

- ・各ユニットの脱着方法は、必ず上記要領にて行うようにして下さい。手順どおり行わないとロックレバー機構を破損する可能性があります。
- ・各ユニットの脱着を行う際は必ず電源をオフした後に行ってください。故障の原因となります。
- ・各ユニットは精密機器ですので取り外す際、落とさないよう注意して下さい。本来の性能が発揮できなくなる恐れや、故障の原因となります。

4-3. 取付場所に関する留意事項

注意

本器は精密機器です。本器を設置する場所(環境)によっては所定の性能を発揮できない場合がありますので、設置場所の環境を確認し、場合によってはお客様にて、必要な処置を施すようお願いいたします。

振動、衝撃のある場所には設置しないこと

本器は精密な電子部品で構成されています。振動、衝撃等が無く、落下などの恐れのない安定した場所に設置して下さい。

水・油・薬品などがかかるような場所には設置しないこと

本器に水・油・薬品など液体がかかるような場所は避けて設置して下さい。

温度が-10℃未満又は40℃を超える場所には設置しないこと

本器の使用温度範囲は-10~+40℃です。使用温度範囲内で且つ急変がない安定した場所に設置して下さい。

直射日光の当たる場所や、温度の急変する場所には設置しないこと

直射日光や輻射熱(高温なものから放射される赤外線)が当たる場所、機器の温度が急変する様な場所は避けて下さい。機器内部で結露することがあります。

ノイズ源となる機器から隔離をすること(本体及びケーブル)

周囲に高周波機器・高電圧機器のある場所は避けて設置して下さい。

メンテナンスの出来ない場所・作業に危険を伴う場所には設置しないこと

本器は定期的にメンテナンスを行う必要があります。

装置内等でメンテナンス時に装置を停止させる必要がある場所、装置の一部を取り外さないとメンテナンスが出来ない場所、または配管やラック等によって本器が外せない場所には設置しないで下さい。また高圧線などメンテナンス作業時に危険を伴う場所には設置しないで下さい。

接地工事が十分でない装置筐体に設置しないこと

装置に設置する場合は、接地工事を確実に行って下さい。

周囲に雑ガスが存在する場所に設置しないこと

周囲に雑ガスが存在する場所に本器を設置しないで下さい。

4-4. システム設計上の留意事項

▲ 注意

不安定な電源、ノイズは誤動作、誤警報の原因になります。
本器を使用するシステムでは、本項の記載内容を反映した設計をして下さい。

安定した電源を使用する

電源投入時や瞬時停電時、システムが安定する迄の間、本器の外部出力及び警報接点が作動することがあるので注意して下さい。そのような場合は保安電源を使用するか、受信側で適切な処置をして下さい。
本器には次の内容の電源を供給して下さい。

電源電圧	AC仕様：AC100～240V±10% (本体端子電圧) DC仕様：DC24V±10% (本体端子電圧)	
瞬時停電許容時間	AC仕様：約100msecまで (100msec以上の瞬時停電からの復帰は再スタートとなります) DC仕様：約10msecまで (10msec以上の瞬時停電からの復帰は再スタートとなります)	処置例 連続動作や動作の保証をする為に外部に保安電源等を設置して下さい。
その他	大電力負荷や高周波ノイズを含んだ電源と共用しないで下さい。	処置例 必要に応じて、ラインフィルタ等を使用してノイズ源と切り離してご使用下さい。

放熱を考慮した設計をする

クローズされた計装盤等に取り付ける時は、盤の上下に換気ファンを取り付けて下さい。

雷対策をする

工場・プラント等でケーブルを屋外配線した場合や、屋内配線の場合でも屋外から引き込まれたケーブルと同一ダクト内で平行配線した場合の問題点として“雷”があります。雷を巨大な発信源としますとケーブルはその受信アンテナとなり、ケーブルの接続されている機器が破壊されることがあります。

雷の発生は防げません。また、ケーブルを金属管に入れたり、地下埋設しても雷によって発生する誘導雷サージを完全に防ぐことは出来ません。雷による被災を完全に排除することは出来ませんが、対策として次のような方法があります。

被雷対策	設備の重要度や環境に応じて、適切な処置を講じて下さい。 ・ 伝送信号路等は光ファイバー等を介して接続する方法。 ・ 避雷器(ケーブル保安器)による対策。 (万が一、誘導雷サージがケーブルに乗ってきても、フィールド機器及び中央処理装置の手前に避雷器を設置する方法があります。使用方法の詳細は避雷器メーカーにお問い合わせ願います。)
接地処理	サージノイズは雷や雷以外にも発生します。これらの原因から機器を保護する為に、機器を接地して下さい。

* 避雷器にはフィールド機器の破壊原因となるサージ電圧を取り除くための回路が入っていますので、避雷器を設置することにより、信号が減衰することがあります。避雷器を設置するときには、予め動作を確認して使用して下さい。

警報接点を正しく使用する

本器の警報接点は外部ブザーや警報表示灯を動作させるための信号伝達手段を目的としています。制御の用途等（例えば遮断弁等の制御）には使用しないで下さい。

▲ 注意

無励磁状態の b 接点(ブレーク接点)は外力等の物理的な衝撃によって瞬時的な開(オープン)動作が発生することがあります。

警報接点を b 接点にてご使用頂く場合は瞬時的な動作が発生する事を配慮し、b 接点受信側にて信号の遅延動作(1秒程度)を加える等の対策を講じて下さい。

本器の警報接点仕様は、抵抗負荷の条件による仕様を記載しています。警報接点で誘導負荷を使用する場合、接点部に逆起電力が発生するため、以下の障害が発生しやすくなります。

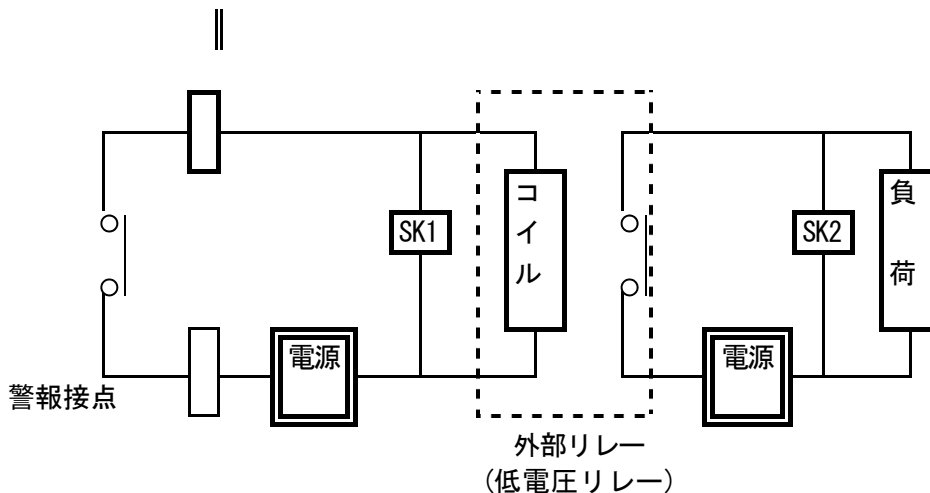
- ・ リレー接点部の溶着、絶縁不良、接触不良
- ・ 本器の内部で高電圧が発生することによる不特定電気部品の破損
- ・ CPUの暴走による異常動作

▲ 注意

- ・ 本器の警報接点で原則誘導負荷を動作させないで下さい。(特に蛍光灯、モーターなどの動作には絶対に使用しないで下さい。)
- ・ 誘導負荷を動作させる場合、外部リレーで中継(接点増幅)して下さい。但し、外部リレーのコイルも誘導負荷に該当するため、低電圧(AC100V 以内)で駆動するリレーを使用し、適切なサージ吸収部品(GR 回路等)で本器の接点を保護して下さい。

負荷を動作させる場合、本器の動作を安定にし、警報接点を保護するため、以下を参考に適切な処置をして下さい。

- ・ 外部リレー(低電圧 AC100V 以内)で中継(接点増幅)して下さい。その際、外部リレーにも定格に見合ったサージ吸収部品 SK1 を取り付けして下さい。
- ・ 外部リレーの負荷側にも必要に応じてサージ吸収部品 SK2 を付加して下さい。
- ・ サージ吸収部品は負荷の条件によっては接点側に取り付けた方がよい場合が有りますが、負荷の動作を確認し適切な場所に取り付けて下さい。



※SK1, SK2 : サージ吸収部品

上位システムとの濃度値のズレの改善

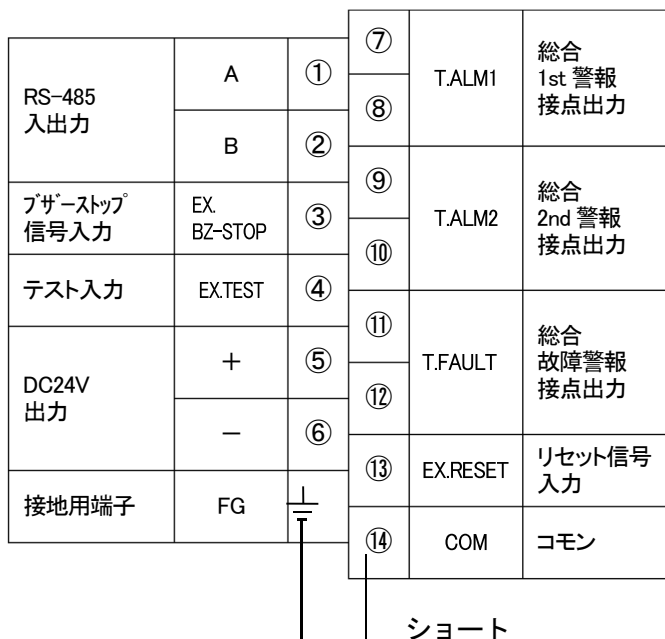
設置用端子『FG』と『COM』との間に電位差が発生すると、使用条件により4-20mA信号で接続された指示警報ユニットと上位システム間でガス濃度値のズレ等が生じることがあります。

その場合、『FG』と『COM』を接続して下さい。

外来ノイズの影響を受けやすくなる可能性がありますので、ガス濃度のズレ等が生じない場合は、接続しないで下さい。

上記で改善しない場合は、4-20mA信号間の絶縁等にて対応をご検討ください。

ブザーユニット用端子台



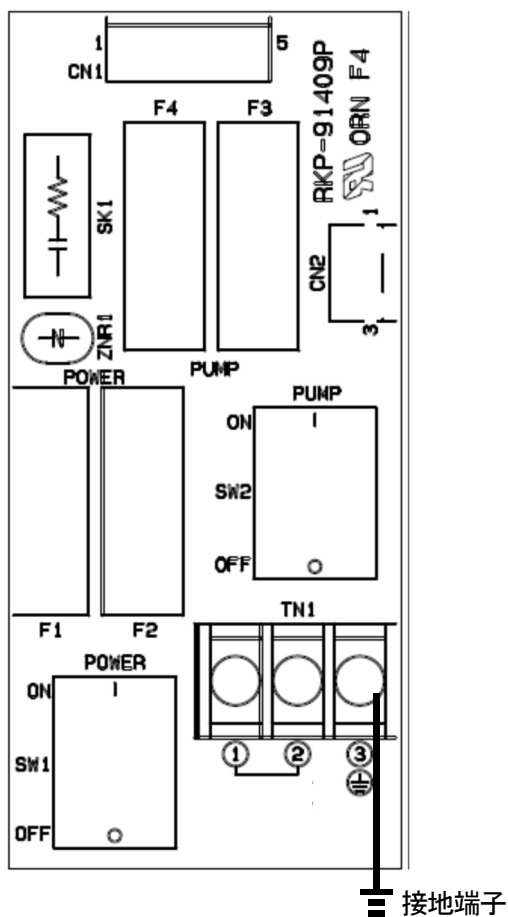
4-5. 接地工事

アース端子を利用してお客様の接地端子に接続して下さい。



警告

本器の電源を入れる前には、必ず接地をして下さい。
機器の安定動作と安全上必ず接地をして下さい。また、接地線はガス管には絶対につながないで下さい。接地はD種接地相当（接地抵抗 100Ω以下）で行って下さい。



5. 機器間接続

5-1. 電源の接続

本器の電源仕様は、AC100～240V±10%、50/60Hz または DC24V±10%です。仕様範囲内の電源を用意して下さい。

電源を接続する前に、アース端子をお客様の接地端子に接地して下さい。接地抵抗は、D種（100Ω以下）として下さい。接地後、本器が安全な状態になってから電源およびその他の結線を行って下さい。

5-2. 接点出力への接続

指示警報ユニットからは、個別警報接点として 1st 警報接点、2nd 警報接点および故障警報接点が出力されます。また、ブザーユニットからは総合 1st 警報接点、総合 2nd 警報接点および故障警報接点が出力されます。

接点容量は、AC100V 0.5A、DC30V 1.5A です（何れも抵抗負荷）。接点容量を超える負荷を接続する場合は、補助リレー回路を構成して下さい。

5-3. 4～20mA出力への接続

指示警報ユニットからの個別 DC4～20mA 信号が出力されます。

接続出来る負荷は、最大 300Ω です。接続に使用するケーブルは、CVVS 相当のシールドケーブルをご使用願います。

5-4. RS-485出力への接続

ブザーユニット用端子台より、各指示警報ユニットからの RS-485（指示警報ユニットのオプション）が出力されます。

接続出来る負荷は、システム設計条件に依ります。接続に使用するケーブルは、KPEV-S 相当のシールドケーブルをご使用願います。

5-5. 各種信号入力への接続

ブザーユニット用端子台へ、ブザーストップ信号（ブザーユニット及び指示警報ユニットがロックイン仕様の場合のみ）、警報テスト信号、リセット信号を入力することが出来ます。

入力信号には、無電圧 a 接点をご使用願います。

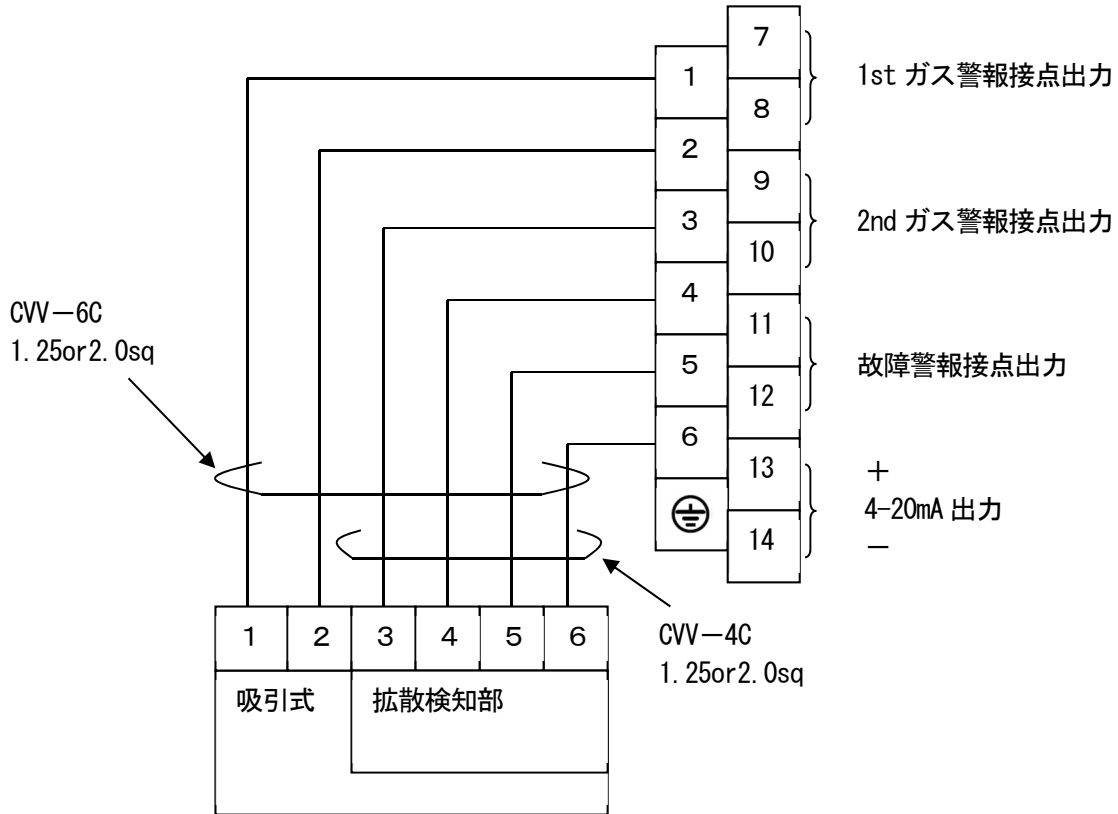
5-6. 検知部との接続例

注意

- ・ 検知部を接続する際、併せて、検知部の取扱説明書も参照願います。
- ・ 吸引式検知部へポンプ用電源ラインを接続する際、本器と検知部の電源仕様が同じであることを確認して下さい。ポンプ用電源端子の出力電源は、本器への入力電源と同じです。

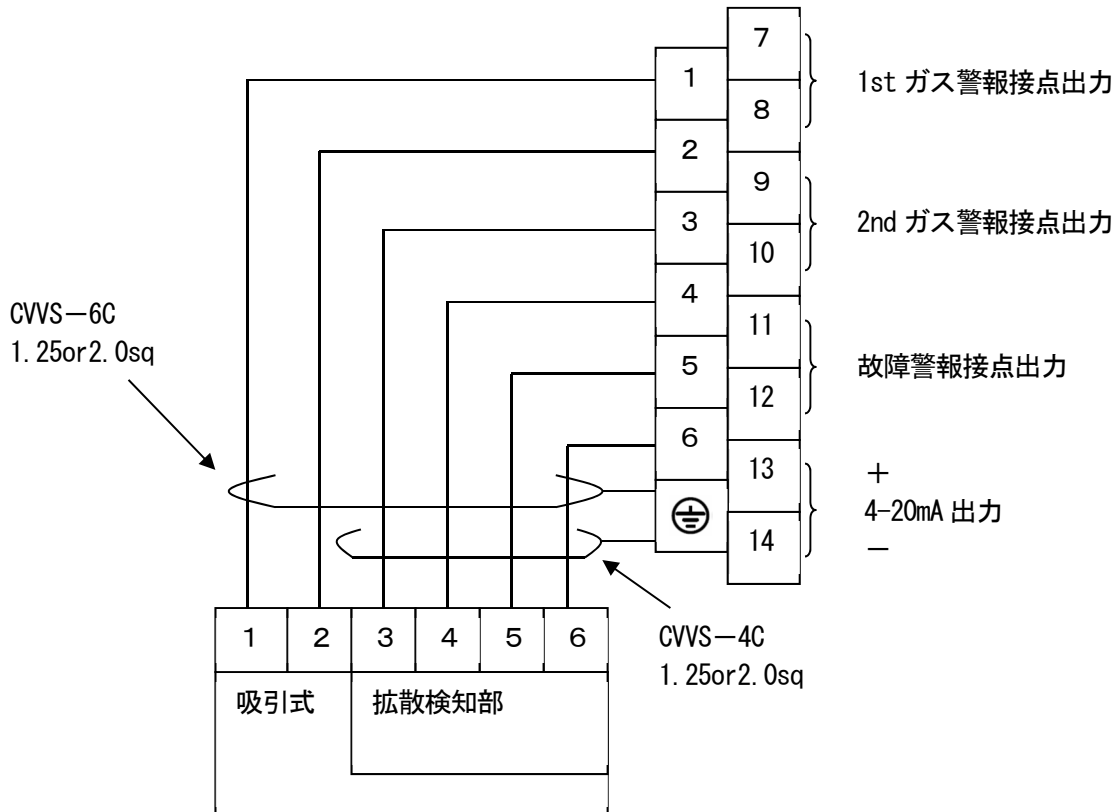
GP-5001/NC-5001/NC-5001W/SP-5001 AC仕様

指示警報ユニット用端子台



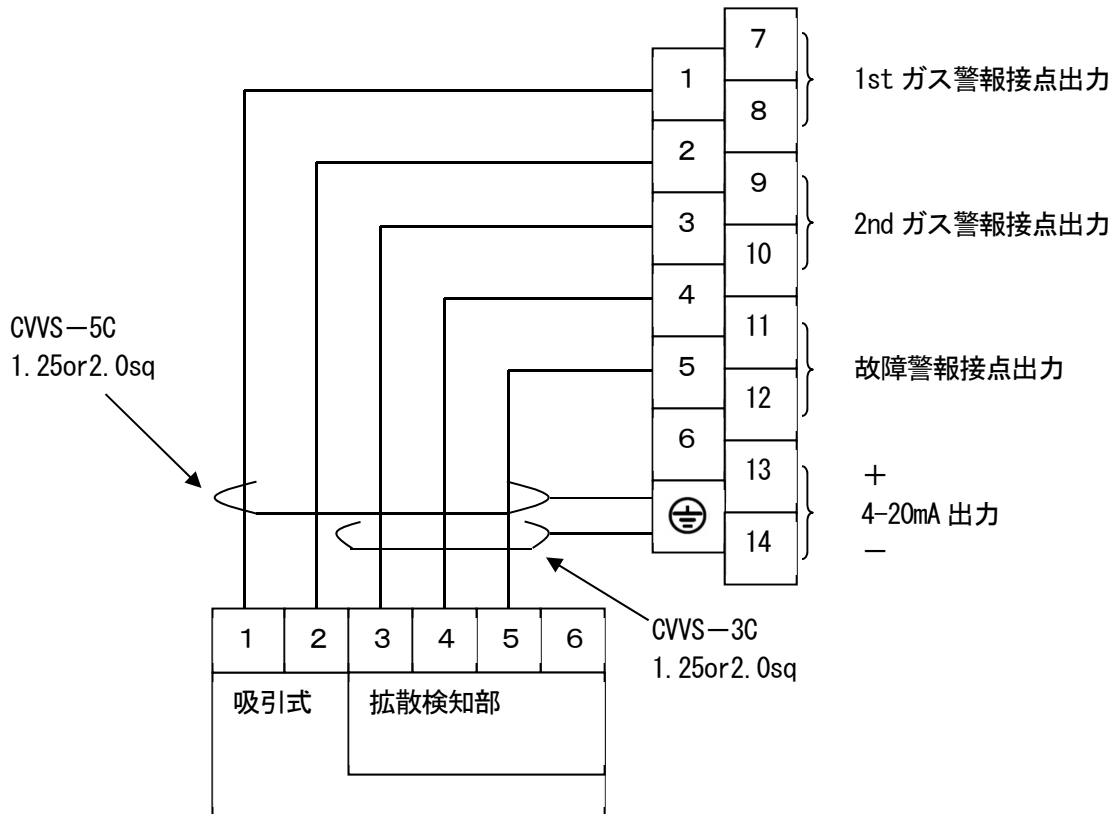
NP-5001 AC仕様

指示警報ユニット用端子台



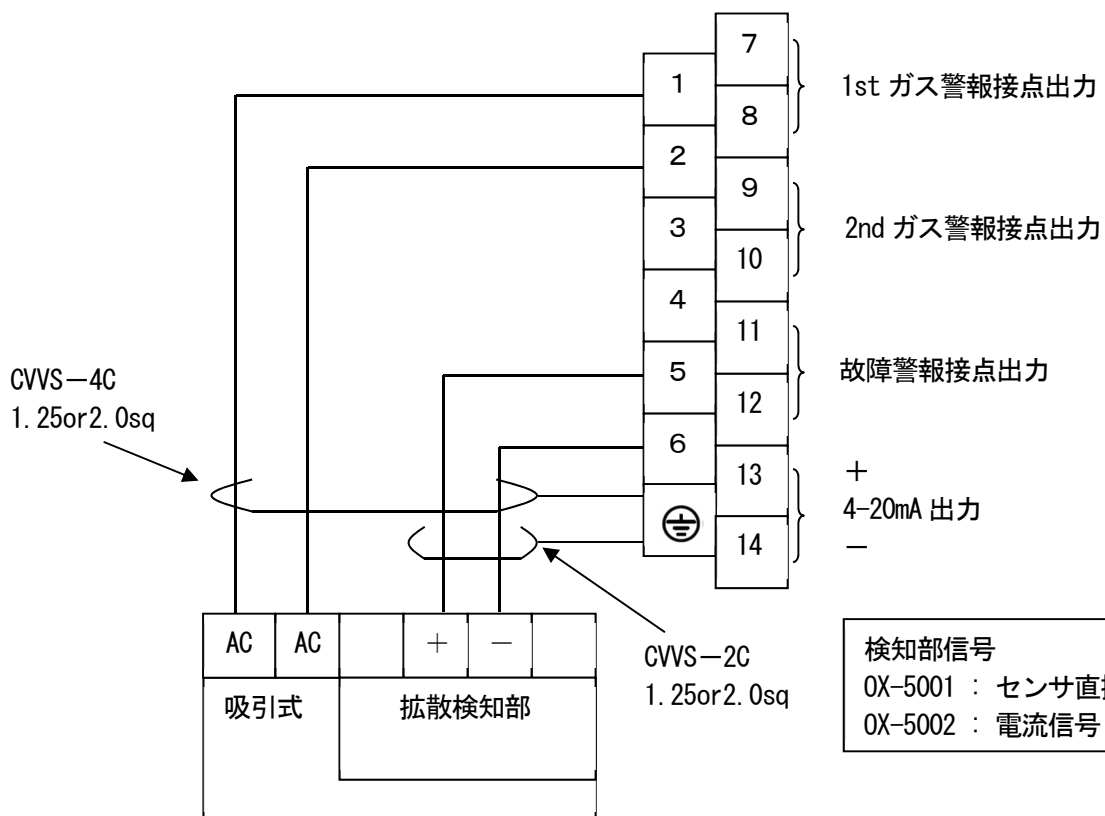
GH-5001 AC仕様

指示警報ユニット用端子台



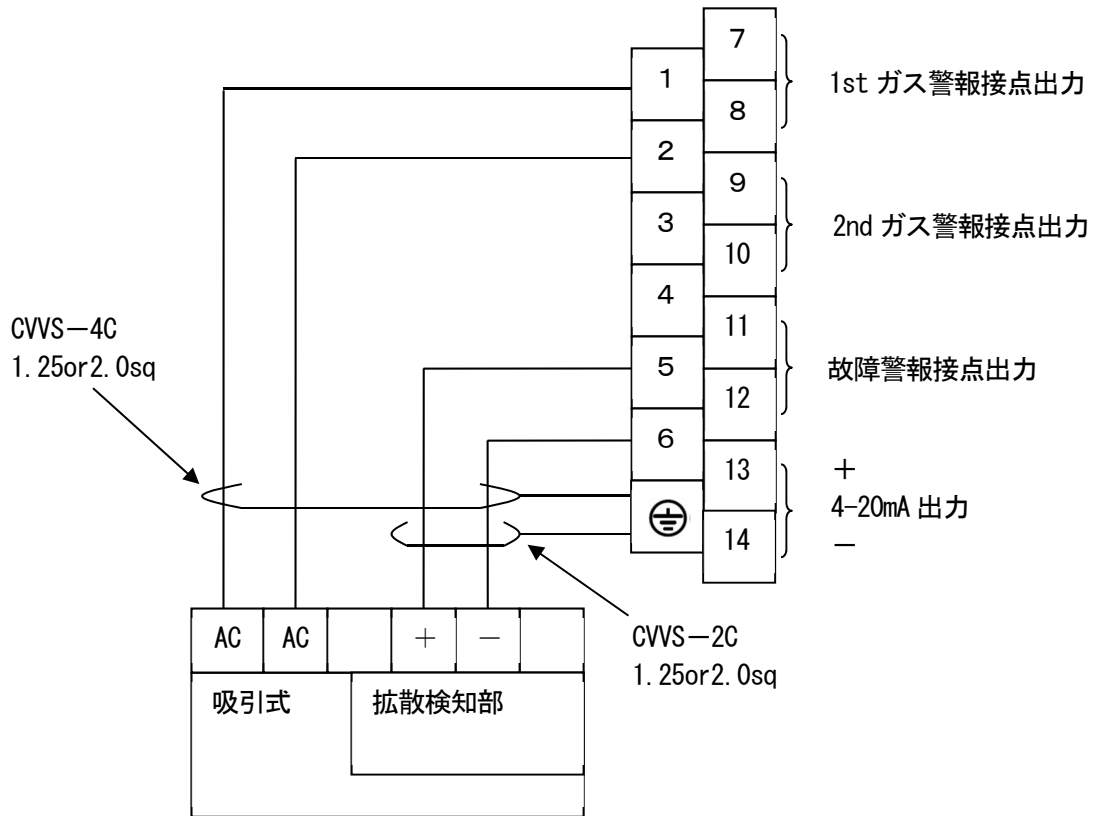
OX-5001/OX-5002 AC仕様

指示警報ユニット用端子台



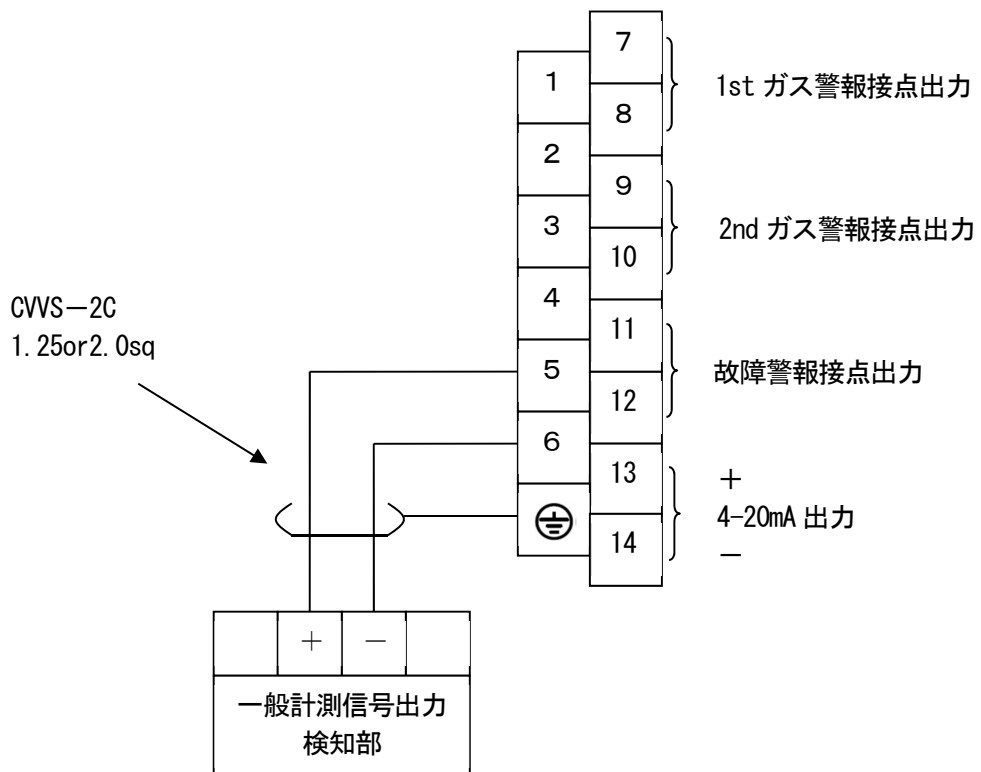
EC-5002 AC仕様

指示警報ユニット用端子台

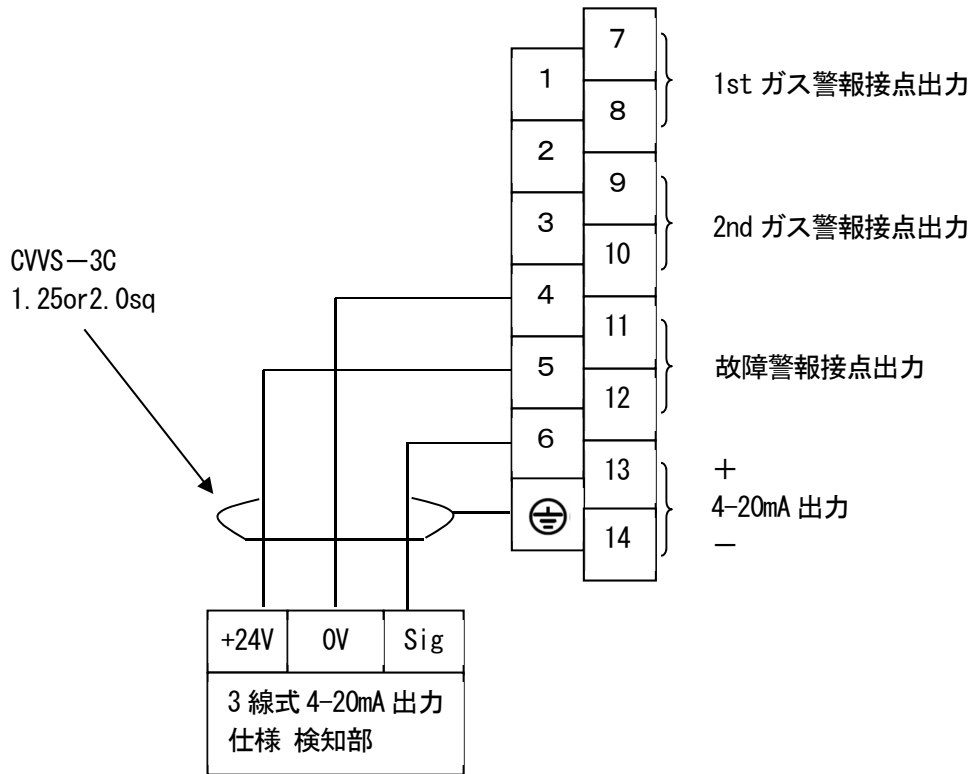


RM-5002 AC仕様

指示警報ユニット用端子台

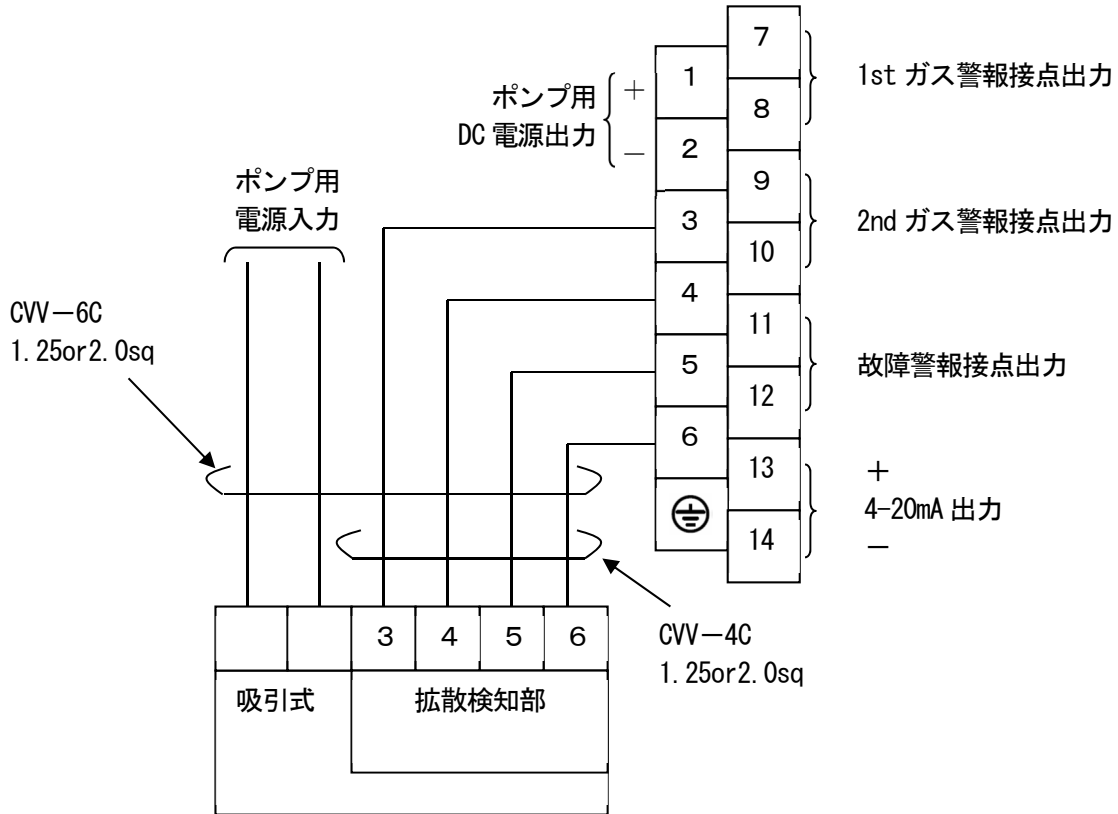


指示警報ユニット用端子台



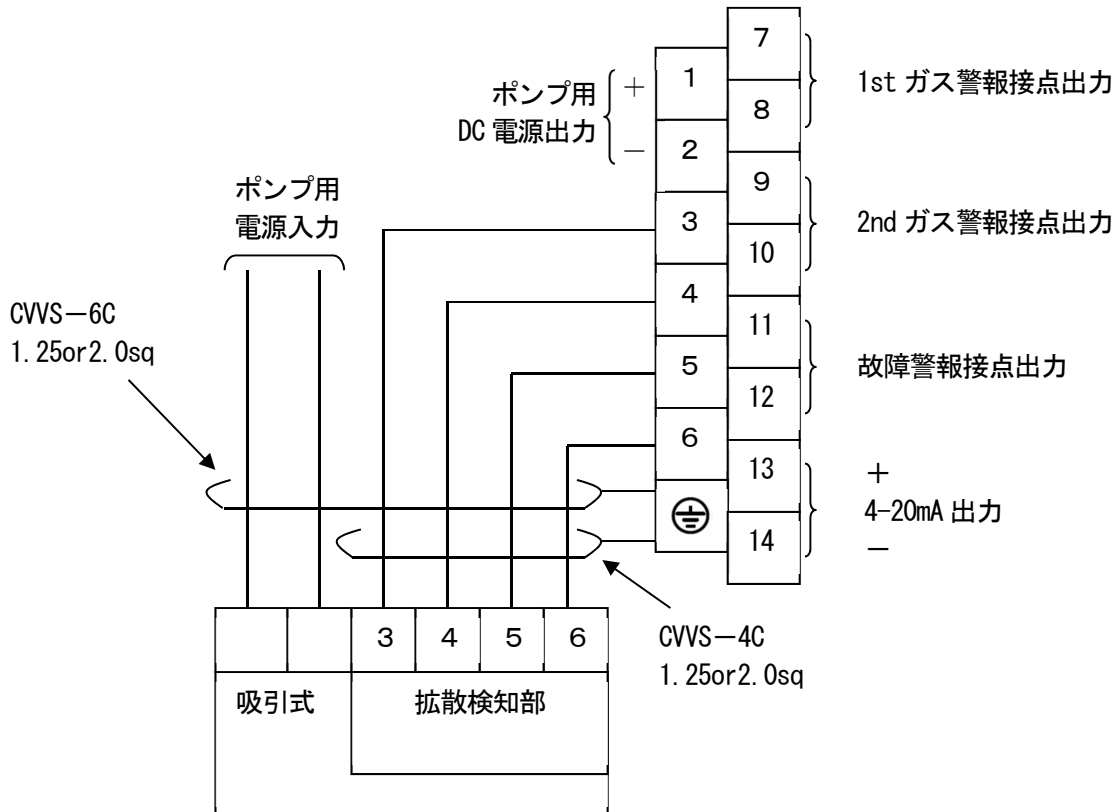
GP-5001/NC-5001/NC-5001W/SP-5001 DC仕様

指示警報ユニット用端子台



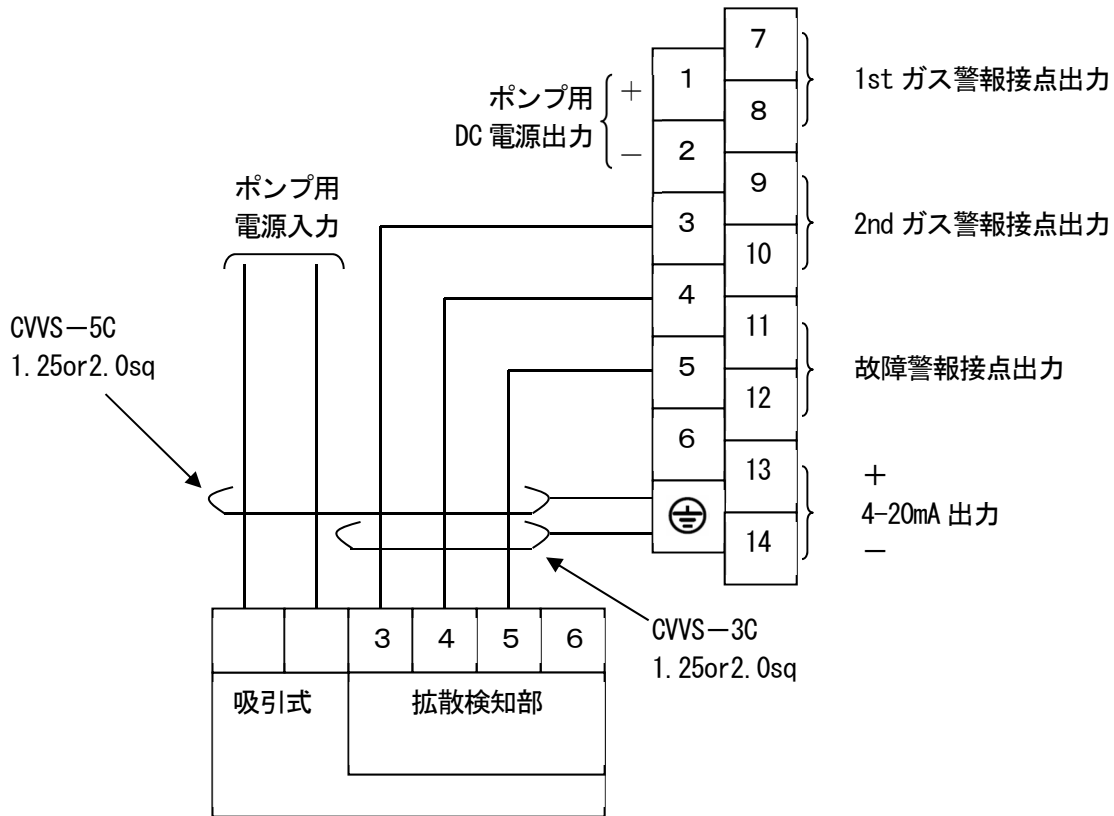
NP-5001 DC仕様

指示警報ユニット用端子台



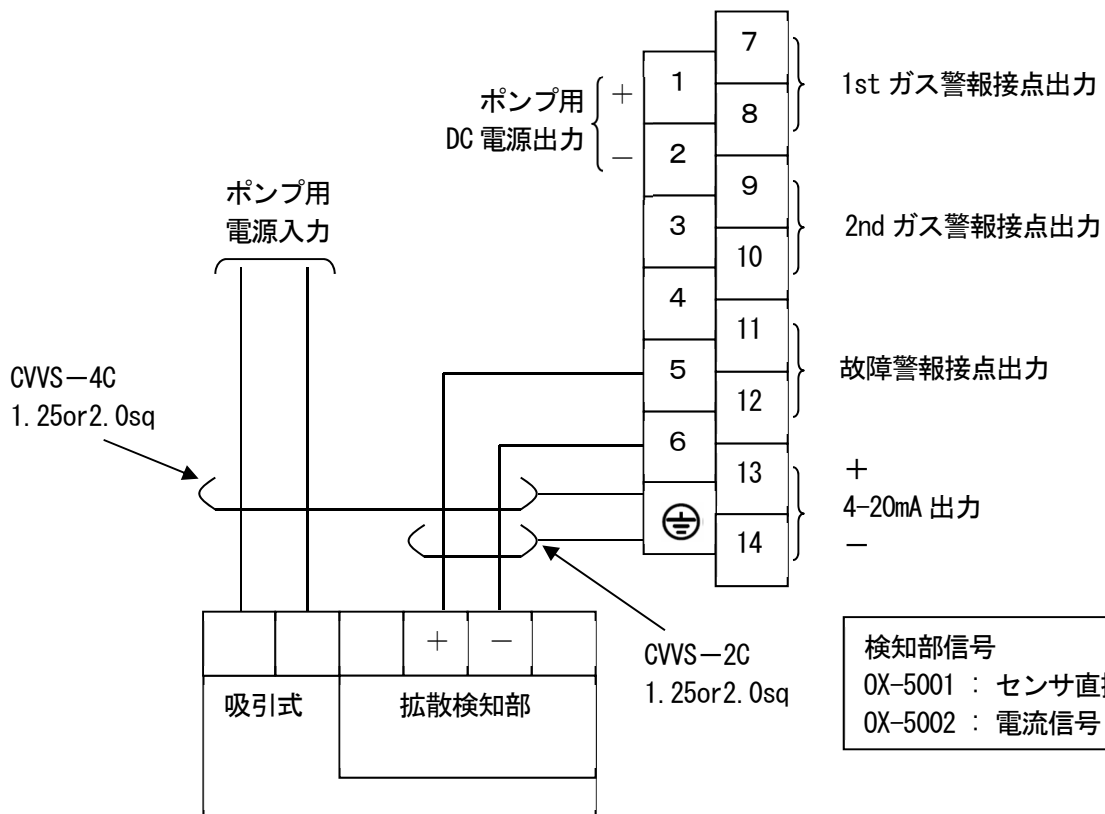
GH-5001 DC仕様

指示警報ユニット用端子台



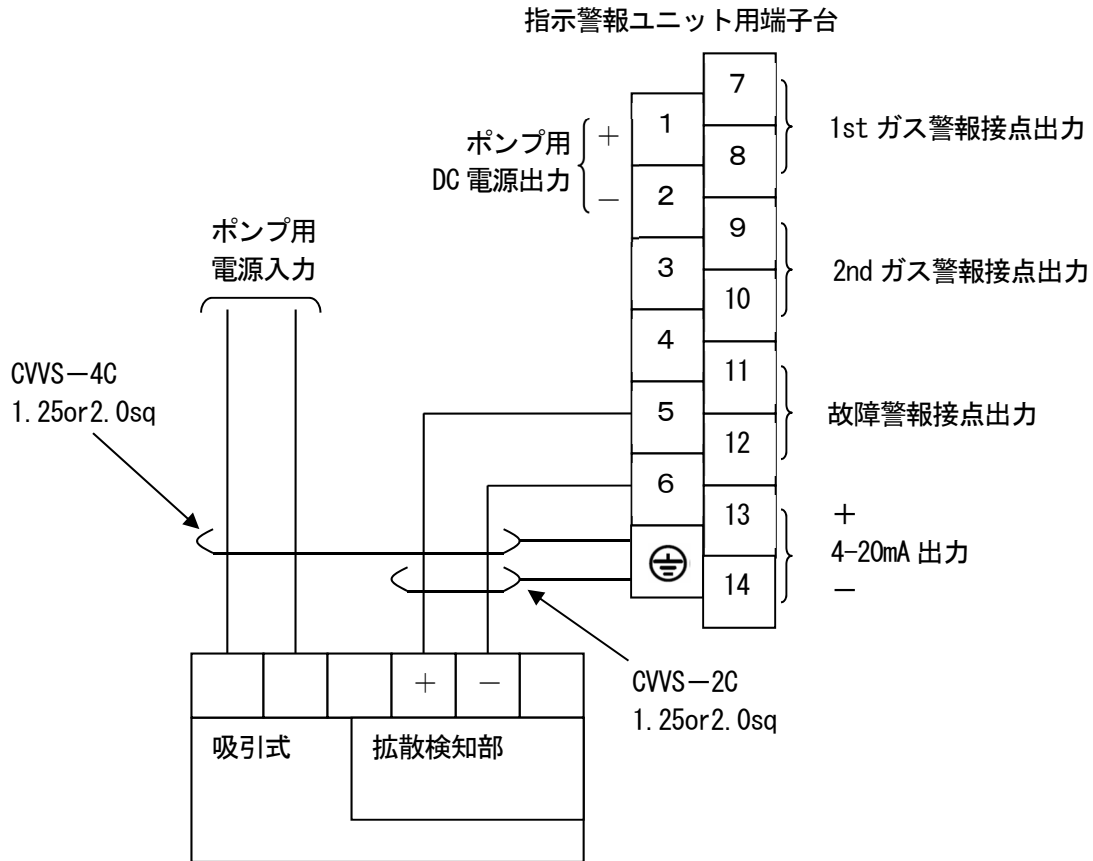
OX-5001/OX-5002 DC仕様

指示警報ユニット用端子台

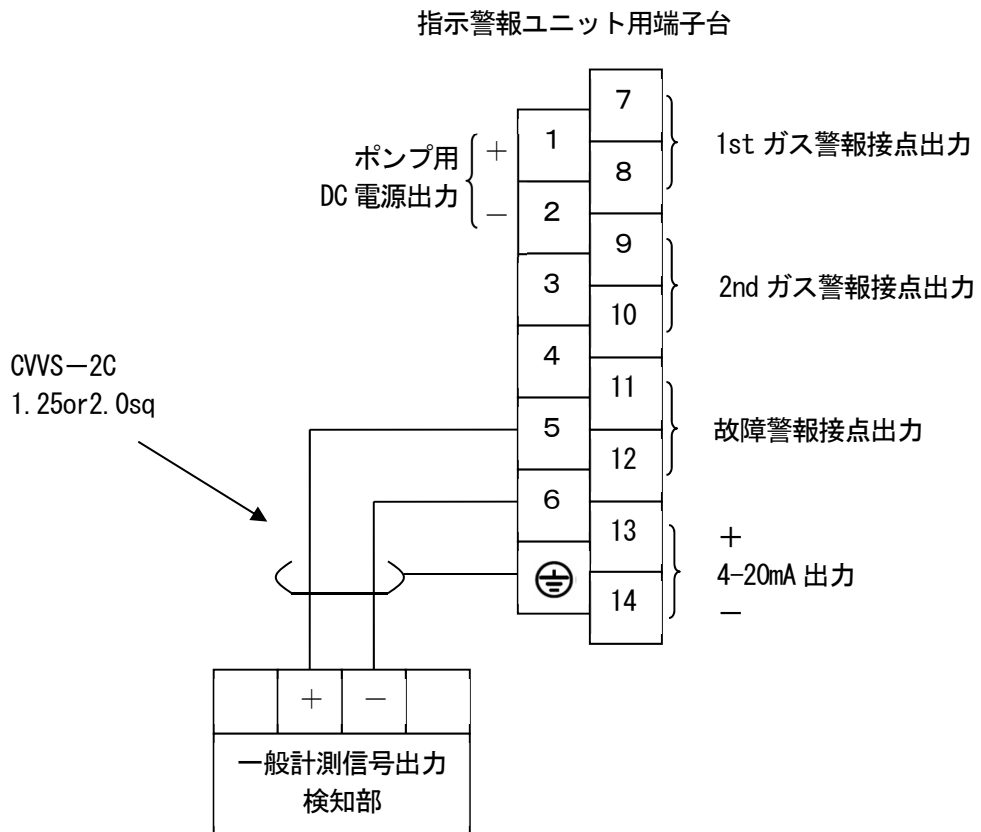


検知部信号
 OX-5001 : センサ直接信号
 OX-5002 : 電流信号 (DC4-20mA)

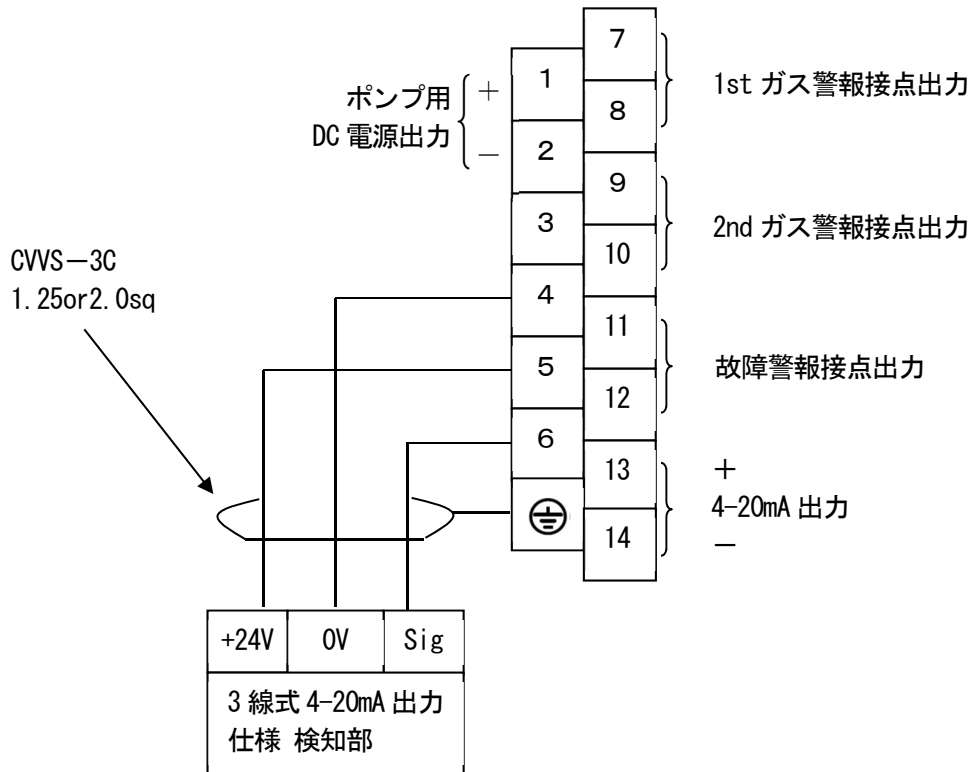
EC-5002 DC仕様



RM-5002 DC仕様



指示警報ユニット用端子台



⚠ 警告

誤配線には十分ご注意ください。火災や機器の故障の原因となります。

6. 製品仕様

【壁掛型】

型式名	5000-02W/5000-04W/5000-06W/5000-08W/5000-10W/5000-12W	
電源	AC仕様：AC100～240V±10%・50/60Hz	DC仕様※：DC24V±10%
ユーティリティ	DC24V 出力 ポンプ電源用 AC 出力	DC24V 出力 ポンプ電源用 DC 出力
使用温度範囲	-10～+40℃(急変なきこと)	
使用湿度範囲	95%RH 以下(結露なきこと)	
構造	壁掛型	
外形寸法	約 191 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-02W) (突起部は除く) 約 263 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-04W) (突起部は除く) 約 336 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-06W) (突起部は除く) 約 408 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-08W) (突起部は除く) 約 480 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-10W) (突起部は除く) 約 552 (W) × 310 (H) × 148 (D) mm (5000-12W) (突起部は除く)	
質量	約 4.5kg (5000-02W) 約 6.5kg (5000-04W) 約 8.5kg (5000-06W) 約 10.5kg (5000-08W) 約 12.0kg (5000-10W) 約 14.0kg (5000-12W)	
備考	外部端子：ねじ端子・サイズ M3	

※ GE/UKCA マーキング仕様の場合は DC 仕様のみとなります。

【埋込型】

型式名	5000-02R/5000-04R/5000-06R/5000-08R/5000-10R/5000-12R	
電源	AC仕様：AC100～240V±10%・50/60Hz	DC仕様※：DC24V±10%
ユーティリティ	DC24V 出力 ポンプ電源用 AC 出力	DC24V 出力 ポンプ電源用 DC 出力
使用温度範囲	-10～+40℃(急変なきこと)	
使用湿度範囲	95%RH 以下(結露なきこと)	
構造	埋込型	
外形寸法	約 226 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-02R) (突起部は除く) 約 298 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-04R) (突起部は除く) 約 370 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-06R) (突起部は除く) 約 442 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-08R) (突起部は除く) 約 515 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-10R) (突起部は除く) 約 586 (W) × 310 (H) × 140 (D) mm (5000-12R) (突起部は除く)	
質量	約 6.0kg (5000-02R) 約 8.0kg (5000-04R) 約 10.0kg (5000-06R) 約 12.0kg (5000-08R) 約 14.0kg (5000-10R) 約 16.0kg (5000-12R)	
備考	外部端子：ねじ端子・サイズ M3	

※ GE/UKCA マーキング仕様の場合は DC 仕様のみとなります。



EU-Declaration of Conformity

Document No.: 320CE22124



We, RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744, Japan declare under our sole responsibility that the following product conforms to all the relevant provisions.

Product Name: Multi-unit Case
Model: 5000-02W/5000-02R, 5000-04W/5000-04R,
5000-06W/5000-06R, 5000-08W/5000-08R,
5000-10W/5000-10R, 5000-12W/5000-12R
※For 24VDC specification ONLY.

Council Directives		Applicable Standards
2014/30/EU	EMC Directive	EN 50270:2015
2011/65/EU ^[1]	RoHS Directive	EN IEC 63000:2018

^[1]Including substances added by Commission Delegated Directive (EU) 2015/863

Place: Tokyo, Japan

Date: Oct. 5, 2022

Takakura Toshiyuki
General manager
Quality Control Center



UK-Declaration of Conformity

Document No.: 320UK22078



We, RIKEN KEIKI Co., Ltd. 2-7-6, Azusawa, Itabashi-ku, Tokyo, 174-8744, Japan declare under our sole responsibility that the following product conforms to all the relevant provisions.

Product Name: Multi-unit Case
Model: 5000-02W/5000-02R, 5000-04W/5000-04R,
5000-06W/5000-06R, 5000-08W/5000-08R,
5000-10W/5000-10R, 5000-12W/5000-12R
※For 24VDC specification ONLY.

Regulations	UK designated Standards
Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 (S.I. 2016/1091)	BS EN 50270:2015
The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012 (S.I. 2012/3032)	BS EN IEC 63000:2018

Place: Tokyo, Japan

Date: Oct. 5, 2022

Takakura Toshiyuki
General manager
Quality Control Center